

あなたの疑問にお答えします。市政と市民のほほ笑みキャッチボール。

ぜひ欲しい飲食コーナー

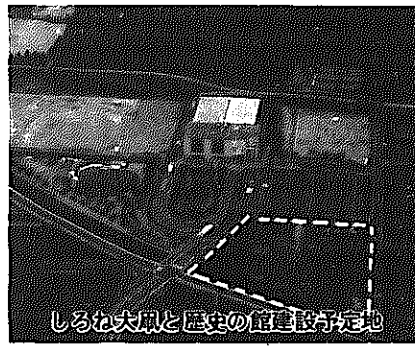
—しろね大鳳と歴史の館—

「しろね大鳳と歴史の館」をまちづくりの拠点施設として整備する基本設計が、広報紙十一月号に発表されました。計画では「風のまち白根」のイメージアップと観光客の誘致、地域文化の高揚を図る施設とし、全国に誇れるものを目指すとされています。しかし、設計図では飲食のコーナーがありません。

ご提言ありがとうございます。ご指摘の点につきましては、カルチャーセンター建設計画の時点からの検討課題であります。

全国に誇れるということであれば、全国の人たちを相手にする心意気と考えられます。そうならば「コーヒーの一杯でも」と敬愛するコーナーが必要となるはずですが、その意気に反し、飲食コーナーがありません。なぜ基本設計に組み込まれていないのでしょうか。よそにある「館」と名の付く所には、ほとんど飲食コーナーがあるようです。

今回の「しろね大鳳と歴史の館」の建設計画においても、常設の飲食施設を設ける必要性が



しろね大鳳と歴史の館建設予定地

あるのではないかとということ、当初から検討を重ねて参りました。その過程において、近隣市町村の類似施設で、飲食施設などが常設されている所を調査したところ、現在では閉鎖されている所がほとんどでした。また、テナントとして入店していただけの業者がいけないことなどの理由から、今回は飲食施設を設置を断念することとなりました。しかし、ご指摘のような市民の皆さんの要望もあることから、とりあえず、ラウンジと休憩コーナーを開放し、自動販売機で対応させていただくことといたしました。

このコーナーは皆さんから寄せられた市に対する質問や要望を掲載し、お答えするものです。住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、企画調整課広報広聴係（〒950-12 白根市大字白根1235）までお寄せください。匿名は原則としてご遠慮を。なお、お寄せいただいたご質問の中には、回答に時間のかかるものもあります。極力紙上で回答したいと考えています。ご了承ください。

生涯学習、時代習生

生涯学習を考える集、茨曾根地区の実践報告

生涯学習を考える集が十月二十二日、カルチャーセンターで行われました。この集いは、生涯学習と地域（まち）づくりをテーマに、市の生涯学習の在り方を考えようというもので、実践発表や、先進地の取り組み、講演などが行われました。広報では、三回にわたって発表された内容を掲載します。今月は、茨曾根地区の実践報告です。



実践報告をする関根喜八郎会長

地域のために 何かやらなければ

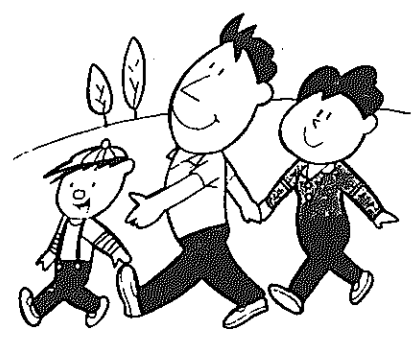
生涯学習茨曾根地区推進連絡会議の発足は、平成二年五月一日、十二の団体から二十七人がメンバーとなりました。生涯学習活動を通じ、希望に満ちた住みよい地域づくりが目的です。連絡会議では、この目的達成のために次の7つの実践目標を掲げました。①創造力たくましい子育て②婦人活動の促進③一人一趣味、一スポーツの促進④家庭の味、家庭の温かさを大切にする⑤地域の歴史・伝統芸能の伝承保存⑥あいさつで明るい地域づくり⑦連帯感ある地域づ

くりの実現一同会議の関根喜八郎会長は「地域づくりには人が集まらなければならぬが、まじめな会合には人が集まらない。趣味を通してグループ化していき、連帯感を生むことが必要」と話します。「焦らず、急がず、着実に実践していきたい」とも、四年度の実践内容を紹介すると、実践目標の立て看板の設置、地区特産の桃を抱いたマナビの作成、茨曾根昔話集の発行、庚神楽舞の保存活動援助など。関根会長は「庚では保存会結成後、メンバーに限らず全体がまとまった。伝承が交流を呼び、地域の連帯感につながった。こうした実践が地域全体に浸透し、地区民に地域のために何かやらねばという意識が出てきた」と手ごたえを感じています。

広げ、健康家族

健康づくりのための運動を

●運動不足は成人病への第一歩 運動は若者だけがやるものではない。年を取るとともに、体力が衰えるからこそ、運動が必要となるのです。ただし、一度に過激な運動をするのは、体に故障が生じて逆にマイナスになります。注意しましょう。



●生活の中に運動を 一口に運動といってもいろいろあります。その中でも、だれにでもできて運動効果の高いもの、さらに日常生活の中で活用できるもの考えるならば、何

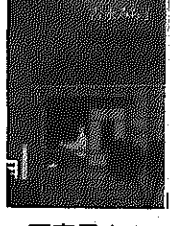
といっても「歩く」ことです。歩くといってもダラダラ歩きではなく、次の点に気を付けて歩きましょう。

- 背筋を伸ばし、姿勢正しく
- ひざを伸ばし、歩幅を広く
- 六十五センチくらい
- 少し速めで(毎分百メートルくらい)リズムカルに
- 毎日二十五分は歩きましょう
- ヘルス教室の紹介

市立図書館 今月の受け入れ図書

●開館時間 ※祝日は休館
月・水・木・土・日曜日
午前9時～午後5時
火・金曜日 午前9時～午後8時
●貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

今月の一冊



下宿屋さん 吉永みち子

伊豆出身で、大学を目指す二浪の良。下宿屋の娘で男まさりの高校生、玲子。新宿の街をさまよう謎の大学生、真理子。あの日、あのころの新宿で三人が織りなす、話題と感動の青春物語。筆者は、競馬専門紙「勝馬」の記者を経て、吉永正人騎手と結婚。「気がつけば騎手の女房」で第16回大宅賞を受賞。

広報クイズ 45

今月の問題

●市は農村総合整備モデル事業の実施計画を作成中。計画中の自転車・歩行者専用道路の名称は？
A コミュニティーロード
B ルーラルアメニティロード
C スーパーロード
(ヒント=2ページ)

●北田中に設置されているガスホルダーに描かれている本市の特産品は？
A 大鳳 B 果物 C 仏壇
(ヒント=7ページ)

●小中学校合同音楽祭で、全員で合唱した歌は？
A 真っ赤な秋 B どんときも
C 白根市民歌
(ヒント=6ページ)

応募の方法

はがきに答えの記号(例●—A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 12月15日(火)必着 □抽選 12月16日(水)に市役所に来られた人に抽選していただきます □発表 1月1日号

当選おめでとう (敬称略)

〔500円の図書券〕▶星野明美(白根)▶牧野さおり(高井興野)▶丸山健(下木山)▶田村豊(四ツ興野)▶山口まなみ(白根)
〔県立自然科学館招待券〕▶遠藤博(上下諏訪木)▶関根恵莉(茨曾根)▶木村尚貴(みの口)

応募はがきから

イラストコーナーをもっと大きくしてもらいたい(12歳) ○おもしろいです。市内のミニバス大会のことものせてくれたらうれしいです。「ボランティア」の内容、とっても良かったですよ!(10歳) ○とてもためになります(8歳)

抽選は11月19日に、市役所で小山豊さん(西登巻1)にお願いしました。先月号の正解は●A●A●C。応募総数は31通で、すべて全問正解でした。